

館外レポート2012年度

平和祈念展示資料館

2012年度

2013年2月28日	平和祈念展 in さいたま
2013年2月26日	記憶のリレー
2013年2月13日	平和祈念フォーラム in 名古屋
2013年1月29日	平和祈念展 in 名古屋
2012年12月12日	平和祈念展 in 宮崎
2012年12月12日	平和祈念交流展 「シベリア強制抑留いろはかるた—斎藤邦雄の世界—」
2012年11月16日	平和祈念展 in 新潟
2012年11月5日	平和祈念展 in 札幌
2012年8月22日	平和祈念フォーラム in 新宿
2012年8月22日	平和祈念展 in 新宿
2012年8月17日	子ども霞が関見学デー
2012年7月19日	平和祈念展 in 秋田
2012年6月12日	平和祈念展 in 松山

平成24年度の館外での展示会第一回目は愛媛県・松山市で開催しました。

- 会期：平成24年5月30日（水）～6月3日（日） 午前10時～午後7時□
- 会場：松山市総合コミュニティセンター コミュニティプラザ（愛媛県・松山市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。□

平成24年度、第一回目の展示会は「平和資料展」や「平和の語り部」派遣事業などを毎年行っている松山市で開催しました。

今回は当資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、兵士の軍装品や抑留者が1日に支給された黒パンとスープの重さを体感する展示など、103点を展示しました。

また、「平和祈念ビデオ制作コンクール2011」の受賞作品を上映しました。



平成24年度の館外での展示会第二回目は秋田県・秋田市で開催しました。

- 会期：平成24年6月30日（土）～7月4日（水） 午前10時～午後7時□
- 会場：秋田市民交流プラザ（アルヴェ）きらめき広場（秋田県・秋田市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、秋田での空襲の犠牲者や秋田市出身の戦没者を慰霊するため、秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を毎年実施している秋田で開催しました。

展示コーナーでは、復員後、秋田で高校教師となり、画家としても活躍した早田貴一氏の絵画（画像展示）をはじめ、当資料館所蔵の代表的な資料や写真など、173点を展示しました。

さらに、秋田県横手市出身で現在、当資料館の語り部として活躍している、鈴木忠典氏の体験談VTRの上映も行いました。

また、シアターコーナーでは、絵本の朗読会やアニメ作品の上映会も行いました。





総務省委託の平和祈念展示資料館は、子ども霞が関見学デーに参加しました。

- 会期：平成24年8月8日（水）9日（木） 午前10時～午後3時
- 会場：中央合同庁舎2号館、共用会議室3

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、次の世代に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用して全国で催しを行っています。

今回は、当資料館の紹介のほか、みんなの作った折り紙でひとつの絵を完成させるワークショップ『折り紙で初夏の満州の大地を描こう！』を行いました。

完成した絵は、8月19日（日）から9月2日（日）まで当資料館ビデオシアターにて展示します。



平成24年度の館外での展示会第三回目は新宿駅西口広場で開催しました。

- 会期：平成24年8月8日（水）～8月12日（日） 午後9時～□午後7時
- 会場：新宿駅西口広場 イベントコーナー（東京都・新宿区）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、当資料館の常設展でも展示していない、千人針、抑留者が着用していた関東軍の防寒外套、引揚船「恵山丸」の模型などを特別に展示しました。

さらに、行軍の様子を撮影した小柳次一氏の写真をパネルで展示するほか、兵士の軍装品を体感できる展示や当資料館所蔵の代表的な資料や写真など、76点を展示しました。

また、館内イベントの告知など資料館のさまざまな活動を紹介しました。



平成24年度は、終戦後、幼くして引揚げを体験した林静一さん、バロン吉元さん、草野仁さん、戦争を知らない世代の母である中嶋朋子さんを迎え、当資料館と同じビルにある新宿住友ホールにて、約250人の方の参加により「平和祈念フォーラム in 新宿」を開催しました。

- 開催日：平成24年8月11日（土） 午後2時～□
- 会場：新宿住友ホール（東京都・新宿区）
- 出演：草野仁（キャスター）、中嶋朋子（女優）、林静一（画家）、バロン吉元（漫画家）、増田弘（平和祈念展示資料館名誉館長）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚げ者の労苦への理解を深め、次の世代に伝えていくため、平和祈念フォーラムを開催しています。

「引揚げに見る母と子」をテーマに、2部構成としました。

第1部は中嶋朋子さんによる絵本「おもいでのリュック」の朗読。

第2部は草野仁さんの司会によるパネルディスカッション。

林静一さん、バロン吉元さん、草野仁さんは、引揚げにおけるご自身の体験を語りました。

また、それぞれの立場から「母と子の物語」を通して、語り継いでいくことの大切さをディスカッションしました。



平成24年度の館外での展示会第四回目は北海道・札幌市で開催しました。

- 会期：平成24年10月24日（水）～10月28日（日） 午前10時～午後7時
- 会場：モエレ沼公園ガラスのピラミッド アトリウム1・展示スペース1（北海道・札幌市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、「札幌市平和都市宣言」を行うなど、普及啓発事業・次世代継承事業を精力的に展開している札幌市で開催しました。

当資料館所蔵の代表的な資料や写真をはじめ、洋画家・勝山俊一氏がエラブカでの抑留体験を綴った画集『ソ連抑留スケッチ集』の原画の画像紹介など、97点を展示しました。

さらに、「白い大地の記憶」をテーマに、シベリアの大地に見立てたアトリウム内に、みんなで木の葉を写し取った紙にメッセージを書いてつくった「言の葉の樹」を植樹するアートワークや、「白い大地の記憶」を音楽で表現したミニコンサートを開催しました。





平成24年度の館外での展示会第五回目は新潟県・新潟市で開催しました。

- 会期：平成24年11月7日（水）～11月11日（日） 午前9時30分～午後6時30分
- 会場：新潟市東区役所南口エントランスホール（新潟県・新潟市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、平成17年10月に「新潟市非核平和都市宣言」を行っている新潟市で開催しました。

当資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、兵士の軍装品を体感できる展示など、106点を展示しました。

また、「平和祈念ビデオ制作コンクール2011」の受賞作品を上映しました。



滋賀県平和祈念館と平和祈念展示資料館は交流事業として「平和祈念交流展」を開催しました。

- 会期：平成24年11月7日（水）～11月25日（日） 午前9時30分～午後5時
- 会場：滋賀県平和祈念館 地域交流室（滋賀県・東近江市）

今回の交流展では、当資料館が所蔵する漫画家・斎藤邦雄氏が描いた抑留体験の作品など67点を展示しました。暖かみのあるタッチで定評のある斎藤氏のイラスト作品を通じて、戦後強制抑留者が経験した労働や生活の様子について紹介しました。



平成24年度の館外での展示会第六回目は宮崎県・宮崎市で開催しました。

- 会期：平成24年11月28日（水）～12月2日（日） 午前10時～午後7時
- 会場：宮交シティ3階 紫陽花ホール（宮崎県・宮崎市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、県内各地において戦没者等の追悼式が毎年実施されており、今年8月に宮崎県福祉保健部国保・援護課の主催で「宮崎県平和祈念資料展 ～語り継ぐ戦争の時代～」が行われた宮崎で開催しました。

当資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、特別展示として、晩年を宮崎で過ごした従軍カメラマン・小柳次一氏が撮影した写真の中から「義烈空挺隊」と「素顔の兵士たち」をテーマとした作品の一部など、あわせて122点を展示しました。

また、アニメ映画「ビルマの豎琴」や、MRT宮崎放送製作の小柳次一氏のドキュメンタリー番組の上映会を実施しました。

さらに、12月1日には、当資料館の増田弘名誉館長の解説を交えながら、宮崎県遺族連合会 会長 藤安澄夫氏とともに、労苦を語り継いでいくことの大切さについて語り合うトークイベントを行いました。



平成24年度の館外での展示会第七回目は愛知県・名古屋市で開催しました。

- 会期：平成25年1月16日（水）～1月20日（日） 午前10時30分～午後7時30分
- 会場：mozoワンダーシティイーストコート1階（愛知県・名古屋市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、昭和38年に市会において「名古屋市平和都市宣言」が議決されている名古屋市で開催しました。

同時期に開催した「平和祈念フォーラムin名古屋」のテーマ「『戦後強制抑留』の労苦を語り継ぐこと」にあわせ、展示コーナーでは、当資料館所蔵の戦後強制抑留に関する資料や写真69点を展示しました。

特別展示コーナーでは、中日新聞社が所有するシベリア抑留関係の写真パネルや、取材で得た抑留体験者の証言などを紹介しました。

また、関係者の労苦体験手記をまとめた冊子などが閲覧できる図書コーナーでは、シベリア抑留者の労苦体験手記の読み語りを行いました。



平成24年度は、新宿に続いて名古屋で開催しました。戦争が終わってからも酷寒の地で乏しい食料と劣悪な環境の中、過酷な労働に従事させられた「戦後強制抑留者」をテーマとした「平和祈念フォーラム in 名古屋」を開催しました。

- 開催日：平成25年1月19日（土） 午後2時～□
- 会 場：名古屋国際センター 別棟ホール（愛知県・名古屋市）
- 出 演：矢野きよ実（司会・パーソナリティー）、別所哲也（俳優）、シベリア抑留体験者、増田弘（平和祈念展示資料館名誉館長）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦への理解を深め、次の世代に伝えていくため、平和祈念フォーラムを開催しています。

「戦後強制抑留者」をテーマに、2部構成としました。

第1部は別所哲也さんによる労苦体験手記の朗読。

第2部は矢野きよ実さん、増田弘名誉館長が聞き手となり、愛知県在住のシベリア抑留体験者の2人に収容所での生活や過酷な労働、現地の人々との交流について語っていただきました。



平和祈念展示資料館が企画・監修した、シベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ公開収録番組「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」がテレビ埼玉で放送されました。

- 放送日時：平成25年2月16日（土）午後8時～午後8時55分
- 放送局：テレビ埼玉
- 公開収録日時：平成25年2月2日（土）午後1時開演（開場午前12時30分）
- 公開収録会場：埼玉会館小ホール（埼玉県・さいたま市）
- 出演：埼玉県内外の高校生、斎藤邦雄（漫画家・抑留体験者）※VTR出演、おざわゆき（漫画家）、増田弘（平和祈念展示資料館名誉館長）、小室早弥香（テレビ埼玉アナウンサー）、宮田佳代子（フリーキャスター）、ななめ45°（お笑い芸人）

2月2日（土）に埼玉会館小ホールで行われた公開収録では、埼玉県を中心とした10校の高校生たちが出演しました。シベリア抑留を体験した埼玉県在住の漫画家 斎藤邦雄さんの当時の貴重な話（VTR）を聞き、父親の抑留体験を漫画化した おざわゆきさんを迎えて、「語り継ぐ」ためにどうしたらよいか、みんなで考えました。高校生たちは事前に当資料館を訪れたときの感想や戦後強制抑留について、自分たちがどのように語り継いでいきたいかなど、積極的に意見を交わしました。おざわさんが高校生たちの熱心な感想に涙ぐむ場面もありました。また、会場ではツイッターで募った来場者の意見も紹介しました。



平成24年度の館外での最後の展示会は埼玉県・さいたま市で開催しました。

- 会期：平成25年2月19日（火）～2月23日（土） 午前9時30分～午後6時30分
- 会場：さいたま市プラザノース ノースギャラリー4～7（埼玉県・さいたま市）

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、全国の方々に伝えていくため、所蔵資料や写真などを活用した展示会を各地で開催しています。

今回は、平成17年に「さいたま市平和都市宣言」を策定しており、当資料館から比較的アクセスの良い、さいたま市で開催しました。

資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、特別展示として、シベリアの収容所で約3年間の抑留生活を送った埼玉県在住の漫画家・斎藤邦雄氏が描いた作品など、144点を展示しました。

また、ビデオコーナーでは、当資料館が企画・監修し、テレビ埼玉が制作したシベリア抑留などの戦争体験を若い世代に語り継ぐ番組や、戦争体験者の労苦をテーマとした「高校生ビデオ制作コンクール（平成23年開催）」の受賞作品を上映しました。

